

まちの話題

作文コンクールで優秀賞

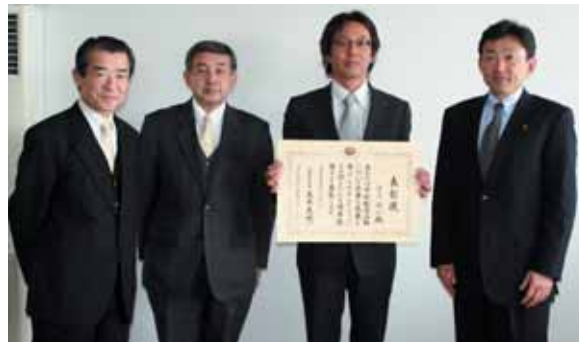


▲受賞した品川久瑠実さん(中央)と妹の花凜さん

2月10日、品川久瑠実さん(のぞみが丘小5年)が第29回「心に残る医療」体験記コンクールの小学生の部で、優秀賞を受賞したことを平安市長へ報告しました。

タイトルの「たいしたことじゃない」は脳梗塞で入院した祖父の口癖で、毎日リハビリに取り組む姿や家族の様子が描かれています。祖父の趣味だった将棋がリハビリによいと聞き、自分が相手になろうと1から将棋を覚えはじめたエピソードが書かれていて、退院した現在もよく将棋の相手をして祖父を喜ばせているとのこと。平安市長は「決まった字数にまとめるのは難しいのによく書けました。これからは勉強やスポーツはもちろん、おじいちゃんが笑顔でいられるように将棋も頑張ってください」と語りました。

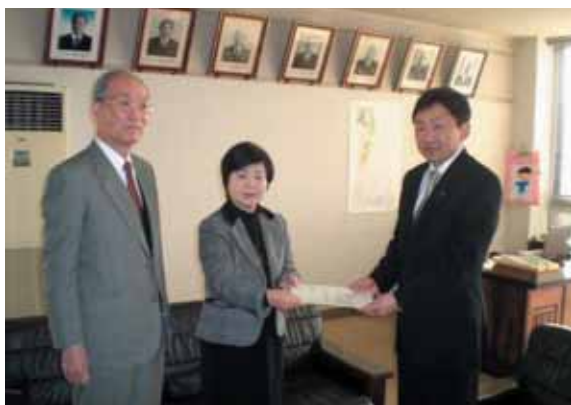
優秀教員表彰受賞



▲平安市長(写真右)へ報告を行った(左より)清武教育長、是永東野小校長、江上征一先生

2月1日、東野小学校の江上征一先生が平成22年度文部科学大臣優秀教員表彰を受賞したことを平安市長へ報告しました。

この表彰は、学校教育において教育実践等に顕著な成果を挙げられた方が表彰されるもので、江上先生は東野小の研究主任として活躍されているだけでなく、他校に招かれての学習指導面が高く評価されたものです。平成22年度は全国で881人、県内で25人が受賞しています。表彰を受けたことについて江上先生は「受賞の重みを感じています。これを励みにまた頑張ります。」と語りました。平安市長は「他の先生の励みになります。これを契機にますます頑張ってください。」と受賞を称えました。



▲平安市長へ答申を行った審議会会長の原田裕子さん(写真中央)、副会長の品田紘司さん(写真左)

2月4日、市長より諮問を受けていた「第5次小郡市総合振興計画(平成23年度～32年度)」について、小郡市総合振興計画審議会(原田裕子会長)より答申が行われました。

昨年3月24日の第1回審議会から、全体会・部会を含め計8回にわたり委員15名で熱心に議論を行い、特に第4次計画の成果と反省、今後の農業の方向性、地域主権・コミュニティ分権、成果指標の設定、第5次計画の検証については、細部にわたり検討を重ねてこられたことを市長に報告しました。

第5次小郡市総合振興計画について、小郡市総合振興計画審議会より答申が行われました。

答申では、本計画内容の周知を十分に行い、市民の理解と協力を求めることや、基本理念である「市民との協働によるまちづくり」の実現に向けて市民と行政が一体となった取り組みを行うっていくことを市長に要望しました。また、厳しい財政状況の中、計画の進捗状況の把握を行い、成果指標の達成に努めながら施策内容を着実に実施していくことや事務事業の改善・改革、施策の重点化を進め、効率的な行財政運営を行うっていくことについても要望を行いました。

おわりに

市では、今回の審議会の答申を受け、3月定例会市議会に第5次小郡市総合振興計画の策定について議案を提出しています。計画の議決後には、改めて内容についてご報告いたしますので、引き続き市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

●問い合わせ先

企画課企画政策係

☎72・2111 内線224